

令和 3年度（2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	建築指導課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2488
	基本事業	避難所などの耐震化及び急傾斜地崩壊防止対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	住宅建築物耐震改修等事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市耐震改修促進計画に基づき、地震発生時に市民生活の生命線となる緊急輸送道路を確保するため、民間建築物に対し、耐震診断及び耐震改修又は建替えに要する費用の一部を補助することにより、沿道の民間建築物の耐震化を促進する。また、地震時の建物の倒壊等によって発生する、人的及び経済的被害を軽減するため、住宅の耐震診断及び耐震改修に要する費用の一部を補助し、民間住宅の耐震化を促進する。				
	3年度概要	<ul style="list-style-type: none"> 民間住宅の耐震診断棟数 106棟 民間住宅の耐震改修等棟数 59棟 大規模建築物の耐震改修棟数 2棟 (内R2線越分2棟70,250千円) 緊急輸送道路沿道の耐震改修等棟数 2棟 (内R2線越分1棟36,660千円) 義務化建築物の耐震診断棟数 13棟 (内R2線越分6棟21,405千円) 			
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	高松市耐震改修促進計画に基づき、耐震改修工事予定の緊急輸送道路沿いの一定の条件を満たす民間建築物、耐震診断が義務化となった民間建築物及び民間住宅とする。
意図(どのような状態にしたいか)	耐震診断や耐震改修にかかる費用負担を軽くするための補助制度を設けることにより、住宅・建築物の耐震化を促進し、地震時の建物の倒壊等によって発生する人的及び経済的被害を軽減する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
民間住宅の耐震診断実施済棟数	棟	116	106	64	100	100
民間住宅の耐震改修実施済棟数	棟	55	59	36	45	45

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
民間住宅の耐震診断実施済棟数(累積)	棟	目標値	1,080	1,200	1,320	1,420	1,520
		実績値	966	1,072	1,136		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 単年度及び累積ともに目標値を達成できなかった。(目標達成度)							(達成度) 86.1% 30点
民間住宅の耐震改修実施済棟数(累積)	棟	目標値	310	355	400	445	490
		実績値	351	410	446		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 累積は目標値を達成できたが、単年度は目標値を達成できなかった。(目標達成度)							(達成度) 111.5% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
トータルコスト	[千円]	110,145	197,880	189,846	332,833
(事業費)	[千円]	84,056	171,701	164,033	307,020
(職員人件費)	[千円]	26,089	26,179	25,813	25,813

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

民間住宅の耐震改修事業については、無料相談会を参加者が多いコミュニティセンター等で継続して実施した。耐震診断義務化の建築物については、継続的に所有者に周知・啓発を行うことで実績につながったが、引き続き、所有者へのアプローチを強化する必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

民間住宅の耐震改修等事業については、無料相談会の開催にあわせて、コミュニティセンター等と連携した周知活動等を効果的に行い、さらなる事業の促進を図る。耐震診断義務化の建築物については、所有者へのアプローチを強化するとともに、物件ごとに未着手の理由等を整理し、粘り強く対応していく。危険ブロック塀等の撤去促進については、継続して周知・啓発活動を重ねていく。

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	河港課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2522
	基本事業	避難所などの耐震化及び急傾斜地崩壊防止対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	急傾斜地崩壊防止事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	急傾斜地崩壊防止事業 市民から要望のあった急傾斜地のうち、事業採択基準に合致した箇所において崩壊を防止する施設を整備する。				
	3年度概要	(急傾斜地崩壊防止事業) 急傾斜地崩壊防止対策事業 一式 (県施行急傾斜地崩壊防止事業) 県施行急傾斜地崩壊防止対策事業 一式			
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	急傾斜地崩壊防止対策事業要望箇所
意図(どのような状態にしたいか)	急傾斜地崩壊防止事業を進めることで、市民安全で安心して暮らせる環境を形成する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
単年度事業完成延長	m	20	19	27	30	20

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
		完成までの進捗率	%	目標値	94.8	100	100	100
			実績値	100	100	93.2		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 令和元年度採択地区の要望案件について、2か年で施工を計画し、令和2年度分について、施工を実施している。 (目標達成度)							(達成度) 93.2% 32点
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[千円]	23,395	30,707	33,861	52,115
(事業費)	[千円]	17,648	24,940	25,556	43,810
(職員人件費)	[千円]	5,747	5,767	8,305	8,305

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入) 令和2年度施工箇所のうち鎌野(6)地区については、本年度の完了が見込めないため繰越を行った。現在施工中の工事についても受益者負担金が必要であることを説明し、事業採択を行うよう、運用の取り決めを行う必要がある。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入) 改革案なし			

令和 3年度（ 2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	都市計画課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2455
	基本事業	避難所などの耐震化及び急傾斜地崩壊防止対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	鉄道施設安全対策事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	今後発生が予想される地震や経年劣化による鉄道施設の被害を未然に防止し、災害発生時における緊急応急活動の機能確保や鉄道利用者の安全確保を図るため、緊急輸送路との交差箇所での耐震対策及び老朽化が認められる施設の長寿命化対策の実施に対し、事業主体である鉄道事業者へ事業費の一部を支援する。
-------	---

3年度概要	J R 四国 栗林高架（長寿命化） 高欄改良 L = 4 3 4 m	
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型

【事業の目的】

対象（何を）	補助対象事業者：鉄道事業者（J R 四国、琴電） 耐震対策事業：緊急輸送道路と交差する高架橋 長寿命化対策事業：老朽化が認められる鉄道施設
意図（どのような状態にしたいか）	緊急輸送道路と交差する鉄道施設の耐震補強及び老朽化施設の長寿命化対策を実施し、災害発生時における緊急応急活動の機能を確保するとともに、鉄道の安全運行及び鉄道利用者の安全確保を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
耐震補強施工箇所	箇所					
改良済延長（J R 栗林高架）	m	1,468	1,710	1,938	2,376	2,827

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
成果指標	耐震補強化率（事業費ベース）	%	目標値	100	100	100	100	100
	実績値	100	100	100				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 耐震対策事業については、平成 2 8 年度に目標を達成し事業が完了した。 (目標達成度)							(達成度) 100.0%
								35点
成果指標	長寿命化率（事業費ベース）	%	目標値	29	35	41	52	65
	実績値	29	35	41				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 栗林架道橋（J R）の高欄改良 L = 2 2 8 m の施工が完了し、ほぼ目標どおり長寿命化が進捗した。 (目標達成度)							(達成度) 100.0%
								35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（決算）	令和 3年度（予算）
トータルコスト	[円]	16,682	16,964	16,875	31,687
（事業費）	[円]	14,640	14,915	14,855	29,667
（職員人件費）	[円]	2,042	2,049	2,020	2,020

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

耐震対策事業については、平成 2 8 年度に目標を達成し、事業が完了した。長寿命化対策事業は、高欄 L = 2 2 8 m の改良実施によって予定どおり事業が進捗した。引き続き円滑な事業進捗による早期の事業完了が望まれる。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

鉄道事業者が取り組む長寿命化対策に、引き続き国・県と連携して支援し、早期の事業完了を促す。